

集積場所をきれいに保つのは住民同士の交流がカギ！

町内の美化活動で重要なポイントのひとつに集積場所を清潔に保つことがあります。集積場所は、日頃から整理整頓と清掃を心がけていないと、ルール違反者が出たり、ごみが散乱したりするので気が抜けません。基本は「ごみネットの活用」や「利用ルールの掲示」のほか、「清掃の当番制」「巡回指導」などで、これらを導入している自治会・町内会も多いと思います。

また、ひとつの集積場所をたくさん
の住民が利用している場合、大量のごみや資源物が集まるため、不法投棄が発生しやすくなったり、清掃に手間がかかったりすることがあります。そんなときは集積場所を複数に分けると、利用者のモラル向上に効果があるようです。

外国人居住者向けには、外国語の分別・出し方のパンフレットの配布や集積場所への表示の用意などを横浜市資源循環局事務所に相談することができます。

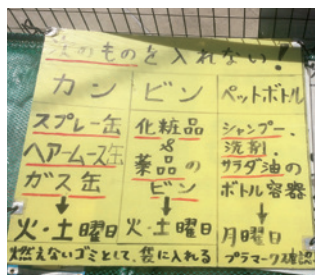
集積場所は利用者一人ひとりがルールを守り、清潔に利用する気遣いが欠かせません。そのためには利用者同士、住民同士の顔が見える交流も大切です。



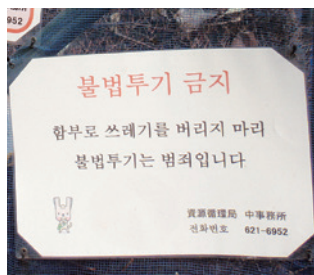
利用者数が多く、大量のごみや資源物が集まる集積場所は、清潔を維持するのが難しい。



コンパクトな集積場所は、利用者の責任が明確になり、管理がしやすい。



集積場所の簡潔な利用ルールを掲示して、勘違いによるルール違反を防止。



外国人居住者が利用する集積場所では、外国語で利用ルールを掲示。



外国人居住者を含む住民同士の交流には、夏祭りなどのイベントを上手に活用。



町内清掃は子どもたちに参加してもらうことで、世代間交流にも貢献。

小学生が描く「環境絵日記」を 町内の住民交流に活用しよう

町内の環境美化には、住民の協力が欠かせません。「環境絵日記」は、環境問題について横浜市内の小学生が家族と話し合い、自由に考えて描いた絵日記です。この絵日記の中には、町内の美化や住民交流促進のヒントになる作品もたくさんありますのでご紹介します。

地域をテーマにした環境絵日記の作品

環境絵日記の作品の中から、地域の環境美化と住民交流をテーマにした作品を紹介します。

作品の詳細や他の作品はリサイクル組合の「Web展示場」でキーワード検索すれば見ることができます。



地域の環境美化

作品①「平和パトロール隊」

SDGsの「住み続けられる街づくり」を目指すため、街のごみ拾いや危険な場所を見つける平和パトロール隊を提案します。

検索キーワード：平和パトロール隊

その他の作品

「ゴミひろいゲーム」

ごみを拾うとモンスターが手に入り、たくさん拾うと成長し、進化するゲームです。ゲームを楽しみながら街をきれいにします。

検索キーワード：ゴミひろいゲーム

「金曜日のひみつ」

お母さんが暑い日も寒い日も、毎週金曜日に出かけていくのは、お花を植えるボランティアをしているからでした。

検索キーワード：金曜日のひみつ

地域住民の交流

作品②「シニアニア」

キッザニアのように、近所のお年寄りが子どもたちにむかし遊びを教えてくれて、仲よくなれるのがシニアニアです。

検索キーワード：シニアニア

その他の作品

「だれでも楽しめる夏祭り」

体の不自由な人や車イスの人が家族と一緒に楽しめるように工夫された夏祭りで、たくさんの子どもと大人が参加できます。

検索キーワード：だれでも楽しめる夏祭り

「高齢子どもホーム」

待機児童の解消のために、高齢者と幼児が一緒に過ごせる施設で、一緒に歌ったり、遊ぶことで、お互いが元気になります。

検索キーワード：高齢子どもホーム



Web 展示場で他の作品をチェック

環境絵日記は、毎年約2万点の作品が集まります。皆さんの町内に住む子どもたちの作品もありますので、「Web展示場」でご覧ください。



ここを「リサイクルデザイン」で検索→「リサイクル組合のホームページ」→上部のクリック！「環境絵日記」のタブをクリック→「環境絵日記 Web展示場」をクリック

環境絵日記の内容が実現した例

●「ほうか後キッズ&シニアクラブ」という環境絵日記で、地域の高齢者と子どもが交流し、お年寄りが生き生きと楽しめる町にしたいという作品です。西区浅間台小学校のキッズクラブで実現しました。



●「ありがとうの掲示板」という作品で、人に親切にしてもらったことを掲示して、感謝の気持ちを伝えることで、温かい気持ちの輪を町に広げたいという環境絵日記です。磯子区洋光台の環境イベントで実現しました。



20
周年

今年も12月に「環境絵日記展」を開催



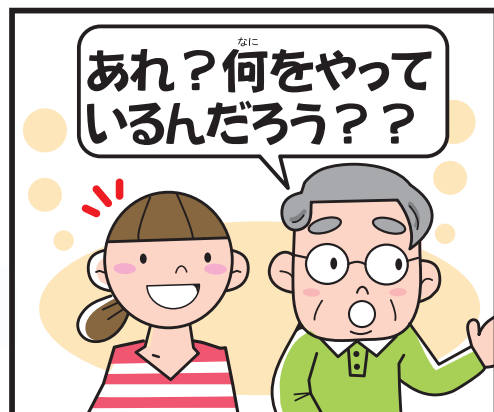
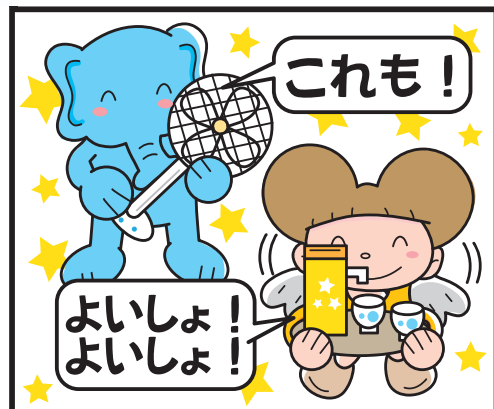
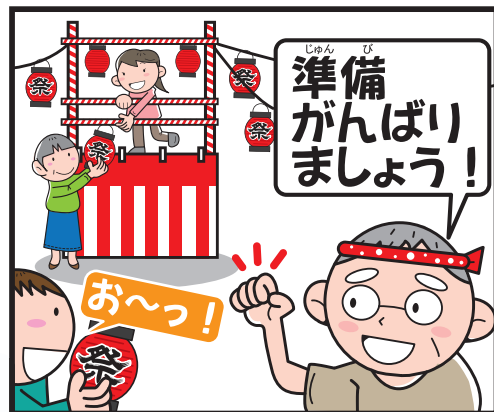
環境絵日記展は今年で20周年を迎えます。会場には選りすぐりの約600作品が展示され、環境にちなんだ体験ブースも多数出展します。子どもたちの未来へ向けた思いをぜひ会場で感じてください。

- ◆日時：令和元年12月8日(日) 11:00～16:00
- ◆場所：横浜港大さん橋ホール

●環境絵日記に関するお問い合わせ

横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局

TEL: 045-444-2531 E-mail: mail@recycledesign.or.jp



リサイクルポート山ノ内見学会と出前講師が600回開催を達成！

横浜市資源リサイクル事業協同組合が実施している、リサイクルポート山ノ内見学会および出前講師がどちらも600回の開催を達成しました。

リサイクルポート山ノ内見学会は、平成17年から始めた無料見学会です。回収された古紙が集まるストックヤードでは、リサイクル原料としての品質管理のため、種類ごとに分けられた大量の古紙の山や、圧縮梱包の様子などを見ることができます。

出前講師は平成13年にスタートした無料出張講座で、小学生や自治会・町内会の方々をメインターゲットに実施しています。分別体験を通じて、横浜市の分別ルールを伝えるとともに、「なぜ分別しなければならないのか？」という分別の目的を理解し、日々の分別に活かしていただきます。

どちらも参加者には高い評価をいただいております。団体様によってはリピートしていただくこともあります。資源

の価値、品質管理について理解を深める機会として、読者の皆さんもぜひお問合せください。



600回目の参加となった団体様には特別に1人1パックずつ、トレペをプレゼントしました

第2回アフリカ廃棄物分野・住民啓発活動ワークショップ報告

4月7日～10日の日程で、アフリカのスーダン共和国で開催されたワークショップに、横浜市資源リサイクル事業協同組合の栗原副理事長がメンバーとして参加しました。

ゴミ処理施設の現地の視察やアフリカ各所で稼働しているJICA（国際協力機構）の隊員との意見交換を通じ、アフリカにおける廃棄物管理環境教育のガイドブックを作成することが目的で、当組合は「環境絵日記」を環境教育のツールとして紹介しました。

西アフリカにあるブルキナファソという国の子どもが描いた絵日記には、「食べるために飼っている豚のお腹からビニール袋が出てきました」という

内容が描かれており、横浜で描かれた絵日記とは、作品に込められた切実感が大きく違いました。事業としてのリサイクルを行いながら、環境啓発に取り組んでいる私たちですが、もっと環境問題の本質を突くアプローチを意識しなければいけないと感じさせる作品でした。

今回のワークショップでは、たくさんの若者が言葉、習慣の異なる国で環境教育を根づかせたいと活動していることを目の当たりにしましたが、様々な立場の人が「環境教育」に注力しているにもかかわらず、期待する効果が出ていないことに、活動の難しさを感じました。



「イルカのお腹からビニール袋が出てきました」という横浜市の絵日記



「豚のお腹にビニール袋が入っていました」というブルキナファソの絵日記

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからご覧いただけます。

<http://www.recycledesign.or.jp/rd/>

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。



リサイクルデザインの発行予定

2019年秋号：9月25日

2019年冬号：12月25日

2020年春号：3月25日

2020年夏号：6月25日

お中元に最適！シングルセット

- お中元用に熨斗紙を付けてお届けできます
- お届け先とご請求先を別にできます
- 日用品として毎日使うものなので大変喜ばれます



ティッシュもトレペもキメ細かくふんわりとした使い心地！

セット内容：

- りくみのトレペ24ロール
- りくみのティッシュ15箱
- 小結くんお試し巻き(30m)1巻

価格：1セット3,650円

●お問い合わせ・ご注文

横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局 TEL：045-444-2531 E-mail：mail@recycledesign.or.jp

【お詫びと訂正】2019年春号(275号)でご紹介した古紙に入れてはいけない「禁忌品」のうち、横浜市では紙コップは未使用品が古紙、使用済みが燃やすごみとなります。また、写真・感熱紙は古紙として出すことができます。お詫びして訂正させていただきます。